

第3学年 道徳学習指導案

日 時 平成29年9月28日(木) 5校時

児 童 3年2組 男17名 女12名 計29名

指導者 郷内 早紀

1 主題名 温かい心を大切に (B 親切, 思いやり)

2 教材名 「一さつのおくりもの」 (出典 東京書籍 明るい心で 3年)

3 主題について

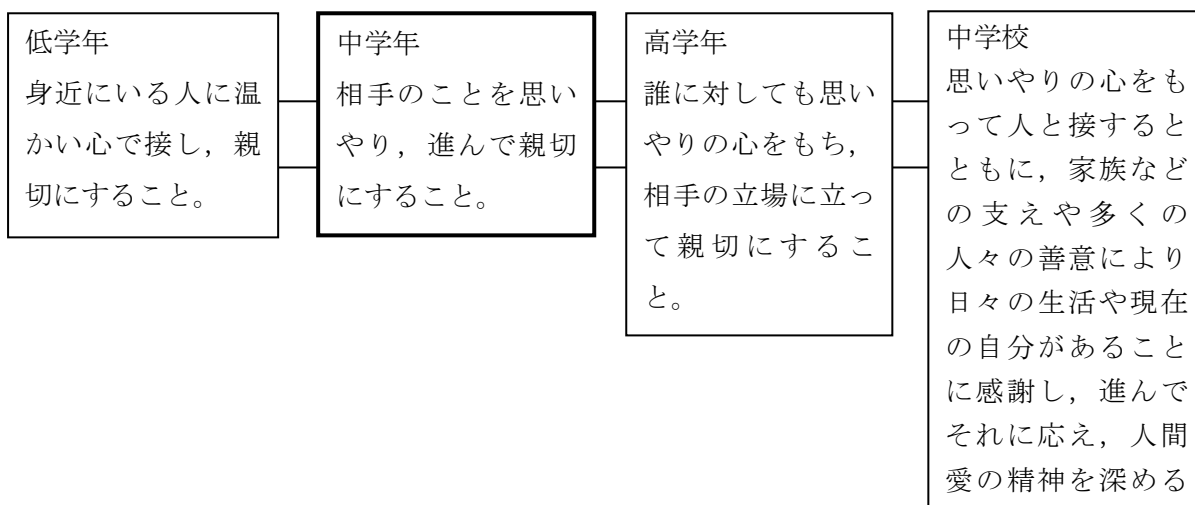
(1) 児童について

本学級の児童は、困っている友達を進んで助けようとしたり、手伝おうとしたりするやさしさを持っている。給食をこぼしてしまった友達がいたら一緒に床を拭いてあげたり、担任に「お手伝いはありませんか?」と自分から聞きに来てくれたりする。反面、自己中心的に考え、相手に対する配慮のない言い方や行動を取ってしまう場面もみられる。自分のことに夢中になると、「自分さえよければ」と考えてしまい、相手の気持ちを考えた言動を取ることが難しい。そこで、温かい心で相手に接することの心地よさやすばらしさを感じ、それを日常生活につなげることで、思いやりの心や親切な行為への意欲につなげていくようにしたい。

道徳の授業では、進んで自分の考えを発言しようとする児童が少ないため、ペアでの話し合いの時間を設定している。互いに思いや考えを伝え合うことで、多様な考えに気付けるようになってきている。

(2) 価値について

第3学年及び第4学年の内容の「B 親切, 思いやり」は「相手のことを思いやり、進んで親切にすること。」とある。これは、よりよい人間関係を築くうえで求められる基本姿勢として、相手に対する思いやりの心を持ち親切にすることに関する内容項目である。この内容項目は、次のように発展していく。



人は、自分のことばかりを考えたり、自分の思いだけを主張したりしては望ましい人間関係を構築することはできない。お互いが相手に対して思いやりの心をもって接するようになることが不可欠である。思いやりとは、相手の気持ちや立場を自分のことに置き換えて推し量り、相手に対

してよかれと思う気持ちを相手に向けることである。そのためには、相手の存在を受け入れ、相手のよさを見いだそうとする姿勢が求められる。具体的には、相手の立場を考えたり相手の気持ちを想像したりすることを通して励ましや援助をすることである。また、単に手を差し伸べるだけでなく、時には相手のことを考えて温かく見守ることも親切な行為としての表れである。相手のことを親身になって考えようとする態度を育てることが期待される。

特に学校生活においては、学校の人々や友達など様々な人と直接的に多様な関わり合いをもてるようにすることが求められる。その上で、相手の立場を考えたり、相手の気持ちを思いやったりすることを通して、思いやりや親切な行為の意義を実感できる機会をつくっていくことが重要である。

(3) 資料について

本資料は、主人公のクマタが、大水害にあった山向こうの村の子供たちに自分のお気に入りの絵本を送る話である。最も大切にしている本だけはあげられないと思っていたクマタだが、大水害にあった子供たちを見舞うため、悩みに悩んでこの本を送ることに決めた。その後、本を受け取ったウサギのササエからお礼の手紙が届き、嬉しくなったクマタはササエに返事を書く。

相手の置かれている状況を考えて行動した主人公の温かい心や、気持ちの推移を感じ取ることで、「親切」について考えを深めることのできる資料である。

(4) 指導にあたって

導入では、事前アンケートを用いて「親切」について話し合い、「親切にすること」について考えていこうとする気持ちをもたせる。

展開では、子供たちにもある心の弱さに触れることで、相手のことを思いやる主人公の温かい心や、大切な絵本をおくるかどうか悩む主人公の心の葛藤に気付くことができるようにしたい。

終末では、日常生活での親切な行為を考えるとともに、本時の学習で学んだことをまとめさせ、これからの生活につなげていきたい。

4 本時の指導

(1) ねらい

相手のことを思いやり、進んで親切にしようとする心情を育てる。

(2) 研究内容に関わる手立てについて

【研究内容1】・・・言語活動を充実させる単元構想

・「2 (4) 指導にあたって」を参照

【研究内容2】・・・思いをもって伝え合う言語活動

・クマタが悩みに悩んで本をあげることに決めた理由について、思いを表出させるために、ワークシートに書く活動を取り入れる。【言語活動1】

・「親切にすること」の価値に迫るために、ペアでの話し合いを取り入れる。

【言語活動2】

【研究内容3】・・・高まりを自覚させる振り返り

・進んで親切にしようとする気持ちを高めるために、日常生活での親切な行為を考えさせる。

・振り返りの視点を与え、学習を通して学んだことをまとめさせる。

(3) 展開

	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
導入 5分	<p>1 「親切」の捉え方を確かめる。</p> <p>○「親切」とは、どんなことでしょうか。</p> <p>2 課題を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人に優しくすること。 ・困っている人を助けること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前アンケートで「親切」についての捉え方を把握し、提示する。 ・本時のねらいを明確に話す。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 「親切にすること」について考えよう。 </div>		
展開	<p>3 「一さつのおくりもの」を読み、話し合う。</p> <p>○クマタは、この絵本を読んで、どんな感想をもったのでしょうか。</p> <p>○クマタは、一晩、どんなことを考えていたのでしょうか。</p> <p>◎クマタは、どうしてお気に入りの本をあげたのでしょうか。</p> <p>○「おへんじ、書いたよ。」と、手紙を高く振ったときのクマタは、どんな気持ちでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キツネの子はえらい。 ・自分にはできないことができてすごい。 ・きずや汚れがないのはこの本だけだ。でも、あげたくないな。 ・ほかの本をあげようかな。 ・あげてしまったら、もうこの本が読めなくなってしまうな。 ・この本を読んだら、元気を出してもらえるかな。 ・キツネの子のようになりたい。 ・ふかみどり村の子供たちに喜んでもらいたい。 ・きずのない本をあげたら喜んでもらえると思ったから。 ・自分のことよりも、ふかみどり村の子供たちのことを考えたから。 ・喜んでもらえてよかった。 ・本をあげてよかった。 ・キツネの子のようと言われてうれしい。 ・いい気持ちだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キツネの子の友達を思う気持ちと行為に心を打たれているが、自分にはできないと思っているクマタの気持ちを押しさえる。 ・お気に入りの本をあげたいけれど、あげたくないと思っているクマタの気持ちを共感させるため、必要に応じて「自分のお気に入りのものを簡単にあげられる？」などの補助発問を入れる。 ・全体に発問をした後、それをもとに自分の思いを表出させるため、ワークシートに書かせる。【言語活動1】 ・自分の気持ちと行為が相手に届いたことを喜ぶクマタに共感させる。

<p>展開</p> <p>35分</p>	<p>○「親切にすること」とは、どういうことなのでしょう。</p> <p>4 自分の生活を振り返る。</p> <p>○人に親切にしたこと（してもらったこと）がありますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手のためにすること。 ・相手を思いやってすること。 ・相手の気持ちを考えて行動すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・絵の具の水をこぼしてしまった友達がいたので、一緒に水を拭いてあげた。 ・大変そうだったので、当番の仕事を手伝ってあげた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発問の前に、課題に立ち返り、学習内容を振り返る。 ・価値に迫るため、ペアでの話し合いを取り入れる。 <p style="text-align: center;">【言語活動2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親切な行為は、相手の気持ちや状況を思いやってする行為であることを押さえる。 ・日常生活での親切な行為について具体的に発表させる。 ・児童の発言を認め、親切な行為を価値付ける。
<p>終末</p> <p>5分</p>	<p>5 今日の学習について振り返る。</p> <p>○今日の課題についての自分の考えを書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・困っている人がいたら、その人の立場になって考えてあげたい。 ・どうしたら本当に喜んでもらえるのかを考えて、人に親切にしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに学習の振り返りをさせ、相手のことを思いやり、進んで親切にしようとする心情をもたせる。

(4) 板書計画

一さつのおくりもの

④ 親切にすることについて考えよう

お気に入りの絵本

一番好きな貝がらをあげる

<挿絵>
本を読む
クマタ

- ・キツネの子はえらいな。
- ・ぼくにはできない。

大雨

ひとばん考える

<挿絵>
大雨が降り続く
ふかみどり村

- ・元気づけたい。
- ・よろこんでもらいた
- い。
- ・キツネの子のよう

<挿絵>
悩むクマタ

- ・あげたくないな。
- ・ほかの本をあげよう
- かな。
- ・読めなくなるのはい
- やだ。

おくることにきめた

手紙がとどく

<挿絵>
喜ぶクマタ

- ・よろこんでもらえた。
- ・あげてよかった。
- ・キツネの子のよう
- うれしい
- ・気もちいいな。

親切にする

相手のことを思いやっする